

モザンビーク

主要データ

国名〔英名〕	モザンビーク共和国〔Republic of Mozambique〕
面積(km ²)	799,380
海岸線延長(km)	2,470
人口(百万人)	21.2
人口密度(人/km ²)	26.5
GDP(百万US\$)	9,831
一人当りGDP(US\$)	465
主要鉱産物：鉱石	チタン鉱石、ボーキサイト
主要鉱産物：地金	アルミ
鉱業管轄官庁	鉱物資源エネルギー省(Ministry of Mineral Resources and Energy)
鉱業関連政府機関	—
鉱業法	鉱業法(Mining Law)
外資法	有(Investment Law 1993)
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	—
鉱業公社	—
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	国営鉱山会社の設立が予定されており、ウラン・石炭・石灰石などの戦略的鉱種については、政府が権益取得することも併せて検討されている
2009年のトピックス	JOGMECは、モザンビーク鉱物資源省と同国における鉱物資源の探査・開発など資源開発分野でのより一層の関係強化を目的とした包括的な覚書(MOU)を締結した

1. 鉱業一般概況

モザンビークの主な鉱業生産物は、アルミニウム、イルメナイト、タンタル、ジルコンであり、2008年の世界の生産量に占める割合は、タンタル9%、イルメナイトとジルコンが各2%、アルミニウムは1%と、鉱業分野において、重要な生産国となっている。また、エネルギー資源として、石炭、天然ガスが産出される。2009年のGDPは98億US\$で、GDP成長率は5.4%であった。2008年における産業別シェアは、第一位は、農業27.4%で、続いて製造(アルミ地金製錬を含む)14.5%、金融サービス11.1%、運輸通信10.7%、の順となっており、鉱業は1.6%となっている。

また、モザンビークは南アフリカに次いで、アフリカ第2位のアルミ生産国であり、豪州からのアルミナを原料とし、BHP Billitonが47%、三菱商事が25%の権益を所有するMozalアルミ製錬所において生産を行っている。2008年のアルミ生産量は、電力不足の影響を受けて前年564千tから536千t

に減少した。また、2008年のアルミ輸出額も、前年の14.8億US\$から14.5億US\$へと減少した。2008年の総輸出額は26.5億US\$であり、そのうち、アルミの占める割合は前年の61.4%から減少しているものの54.7%で、総輸出額の半分以上を占めている。

また、2007年に生産を開始したMomaチタン鉱山は、順調に生産量を伸ばしており、同鉱山を運営するKenmare Resources（アイルランド）は、180百万€（296百万US\$）を投資し、今後のチタン需要の増加に対応するため、同鉱山の拡張を行うことを発表した。（2010年5月）

2. 鉱業政策の主な動き

国営鉱山会社の設立が予定されており、ウラン・石炭・石灰石などの戦略的鉱種については、政府が権益取得することも併せて検討されている。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要非鉄金属鉱石生産量

表 3-1. モザンビーク：金属鉱石生産量

（単位：千 t）

鉱種	2007年	2008年	2009年	2009年増減比（%）
チタン	22.1	136.0	279.8	105.7
ボーキサイト	8.6	5.4	11.8	118.5

（WMSY2010）

(2) 主要非鉄金属地金生産量

表 3-2. モザンビーク：金属地金生産量

（単位：千 t）

鉱種	2007年	2008年	2009年	2009年増減比（%）
アルミ地金	559.9	536.0	247.0	-53.9

（WMSY2010）

(3) 主要非鉄金属消費量

表 3-3. モザンビーク：金属地金消費量

（単位：千 t）

鉱種	2007年	2008年	2009年	2009年増減比（%）
該当なし				

(4) 主要非鉄金属輸出量

表 3-4. モザンビーク：精鉱中含量・地金輸出量

（単位：千 t）

鉱種	2007年	2008年	2009年	2009年増減比（%）	主な輸出相手国 （3か国程度）
該当なし					

(5) 主要非鉄金属輸入量

表 3-5. モザンビーク：精鉱中含量・地金輸入量

(単位：千 t)

鉱種	2007 年	2008 年	2009 年	2009 年 増減比 (%)	主な輸入相手国 (3 か国程度)
該当なし					

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益 : %)	鉱種	生産量 (千 t)	備考
Moma 鉱山	Nortrust Nominees Ltd(16.42%) State Street Nominees Ltd BV (6.45%) HSBC Global Custody Nominee(UK) Lt (4.93%) Nederlandes Financierings-FMO(4.71%) その他 (67.49%)	イルメナイト	471.5	2009 年

(Kenmare resources Annual report 2009)

表 4-2. 製錬・精製所生産状況

	権益所有企業 (権益 : %)	鉱種・形態	生産量 (千 t)	備考
Mozal アル ミ製錬所	BHP Billiton plc (47.1%) 三菱商事 (25%) Industrial Development Corp of SA(24%) モザンビーク政府 (3.9%)	アルミニウム	535.0	2009 年

(Raw Material Data)

5. 探鉱状況

(1) 鉱床能力の評価段階 (鉱種、プロジェクト名、オペレーター)

- ・銅、Mundonguara、Baobab Res
- ・鉄、Tete、Baobab Resources
- ・タンタル、Mujane、Pacific Wildcat Resources

(2) 鉱床規模の把握段階 (鉱種、プロジェクト名、オペレーター)

- ・ニッケル、Mavita、AXMIN

(3) 初期探鉱段階 (鉱種、プロジェクト名、オペレーター)

- ・ウラン、Zambezi Valley、Mantra Resources

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 6-1. モザンビークの日本への精鉱・地金輸出货量 (※含量ベースかマテリアル量かを明記)

(単位：千 t)

鉱種	2007 年	2008 年	2009 年	2009/2008 (%)
チタン鉱石	-	10	40	300
アルミニウム地金	-	2	2	-

(出典：貿易月表 (2010. 7))

(2) 日本企業による投資状況等

2009年12月 JOGMECは、モザンビーク鉱物資源省と同国における鉱物資源の探査・開発など資源開発分野でのより一層の関係強化を目的とした包括的な覚書 (MOU) を締結した。

7. その他トピックス

- ・ 2010年6月 Rio Tinto は、Afnat Resources (英) と JV 契約を締結し、モザンビークで Afnat が権益を有する銅、コバルト、ニッケル等の鉱区について、Rio tinto が 50 千 US\$ の開発資金等を負担し、プロジェクトを進めることになった。なお、Rio tinto は 20 百万 US\$ を追加出資し、持分比率を最大 75% まで増加できるオプションを持つ。JV 権益比率は、Rio tinto 51%、Afnat 49% である。
- ・ 2010年5月 BHP Billiton は、Escom (南ア) と、2011年3月までの Mozal アルミ製錬所への電気供給契約を更改した。同製錬所は、南アの発電能力 (40 千 MW) うちの約 5% を消費しており、南アでは、Escom の大幅な電力料金の値上げが発表されたところであり、今回の契約更改について BHP は、同製錬所は依然として競争力を保持していると、コメントしている。
- ・ 2009年10月に実施された大統領選で、海外からの投資の積極誘致により、金融危機後も着実な経済成長を維持したアルマンド・ゲブザ大統領が再選され、今後もこれまでの政策が継続されることになった。

(ロンドン事務所 竹谷正彦)